

2-2 日常生活圏域ニーズ調査

1. 調査の目的

高齢者の自立を支援するためには、高齢者の身近なところで自立支援に資するサービスが提供される必要があります。そのため、生活機能の面から地域に在住する高齢者の生活状況を把握することにより、必要なサービス量や支援が必要な高齢者を把握し、生活課題を明らかにすることを目的に実施しました。

2. 調査概要

(1) 調査方法

平成22年12月末現在で施設入所者、要介護認定において要介護3以上の者を除外した65歳以上の町内在住者に調査用紙を郵送にて配布、回収し、記入については記名で本人または家族等による自己記入式としました。

(2) 調査期間

平成23年2月～3月

(3) 回収状況

調査用紙は1,751名に配布し、1,481名から回答が得られました。

(回収率84.5%)

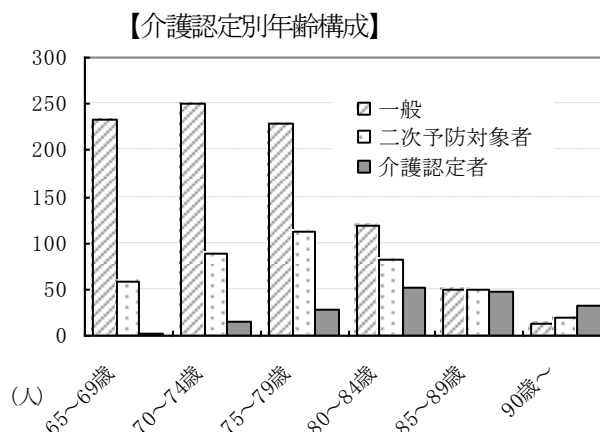
3. 結果

(1) 年齢

回答者の年齢構成をみると70代が最も多く、男性は70～74歳をピークに、女性は75～79歳をピークに減少傾向となり、80歳以降は要支援・要介護認定者（以下「認定者」という）の割合が増加しています。

第9表 年齢構成 (単位:人)

年齢	男	女	計
65～69歳	138	156	294
70～74歳	168	186	354
75～79歳	155	213	368
80～84歳	102	150	252
85～89歳	59	88	147
90歳以上	14	52	66
計	636	845	1,481



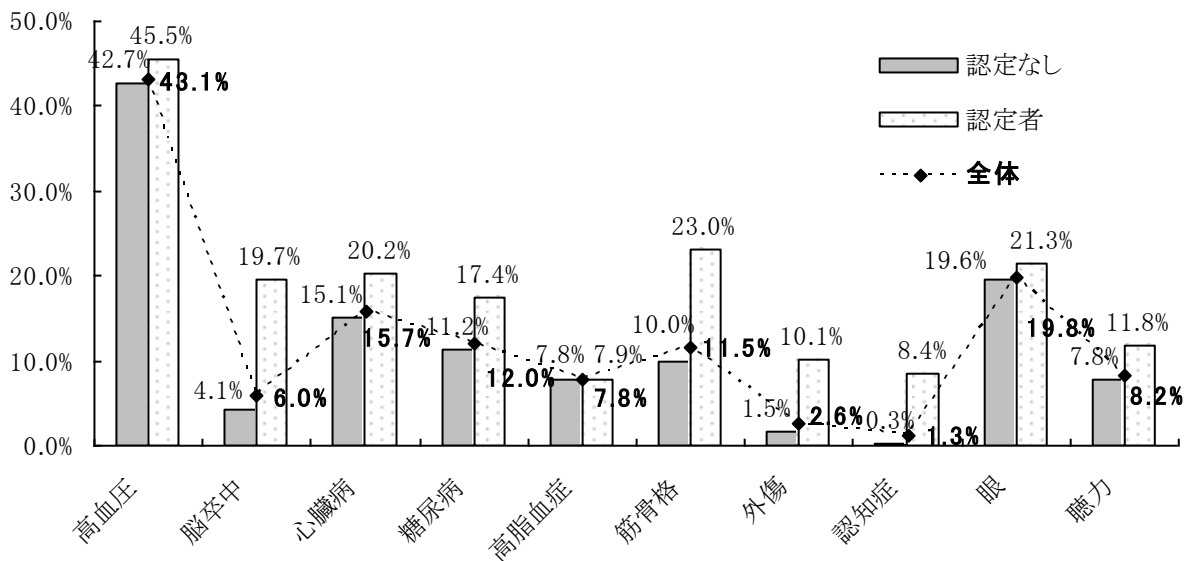
(2) 疾病状況

現在治療中、または後遺症のある病気については、『高血圧』で治療をされている人の割合が全体で43.1%と最も高く、次いで『眼疾患』19.8%、『心臓病』15.7%、『糖尿病』12.0%となっています。

介護認定の有無で比較をすると、認定者では『筋骨格系の病気』『脳卒中』『外傷』『認知症』の割合が認定をうけていない方と比べて高くなっており、これらの疾患が介護の要因になっていることがわかります。

そのため、膝や腰の痛みの軽減をはかり『筋骨格系の病気』の悪化や『転倒などの外傷』を防ぐとともに、『高血圧』『糖尿病』『心臓病』は脳卒中の要因にもなることから、要介護状態の予防のためにも若い年代から病気の予防をするとともに、病気になってからも継続した病気の管理を行い、悪化を予防していく必要があります。

【現在治療中の病気(認定の有無別)】



(3) 二次予防対象者の状況

日常生活で必要となる機能（以下「生活機能」という）が低下した方は要介護状態になるおそれが高いと認められます。そのため、基本チェックリスト（全25項目）により生活機能の低下が認められる方（以下「二次予防対象者」という）を早期に把握し、介護状態への移行を予防していく必要があります。

① 年齢構成

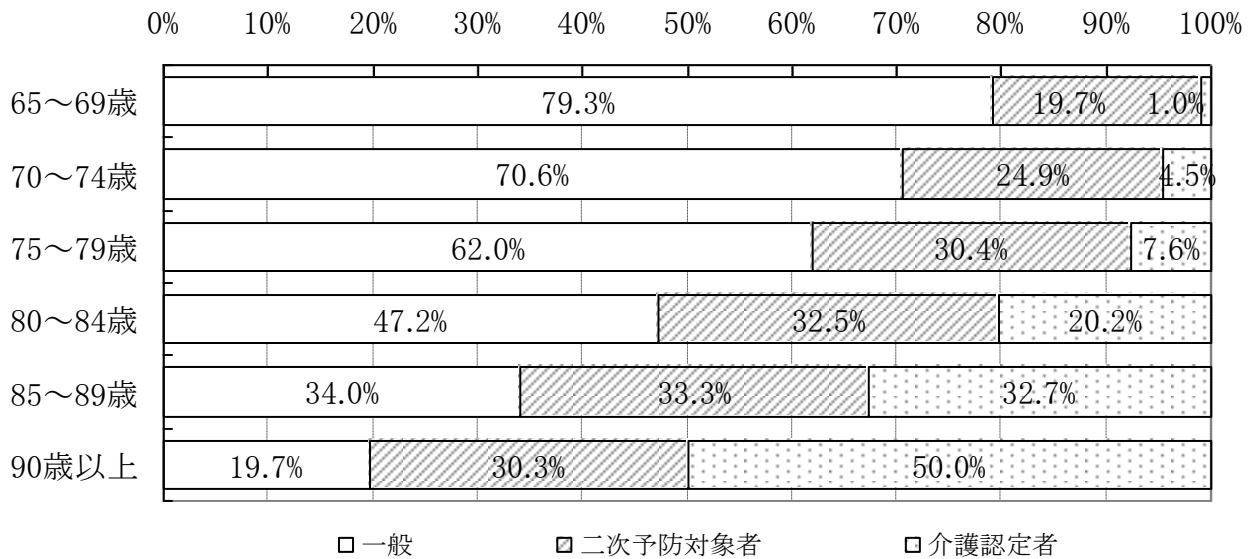
年齢構成別にみると、年代が高くなるにしたがい二次予防対象者の割合が増加しており、加齢が生活機能の低下の要因となっています。

第10表 介護度別年齢構成

(単位：人)

年齢	一般	二次予防対象者	介護認定者	介護認定者内訳			
	実 (割合)	実 (割合)	実 (割合)	支援1	支援2	介護1	介護2
65～69歳	231 (78.6%)	60 (20.4%)	3 (1.0%)	2	0	1	0
70～74歳	250 (70.6%)	88 (24.9%)	16 (4.5%)	7	5	3	1
75～79歳	228 (62.0%)	112 (30.4%)	28 (7.6%)	20	2	5	1
80～84歳	119 (47.2%)	82 (32.5%)	51 (20.2%)	29	11	6	5
85～89歳	50 (34.0%)	49 (33.3%)	48 (32.7%)	24	12	11	1
90歳以上	13 (19.7%)	20 (30.3%)	33 (50.0%)	18	6	7	2
計	891 (60.3%)	411 (27.6%)	179 (12.1%)	100	36	33	10

【二次予防対象者の割合】



② 生活機能低下項目

基本チェックリストにおける二次予防対象者の該当項目をみると、運動機能の低下がみられる方が67.6%と最も多くなっています。

介護認定者の該当項目では「10項目以上該当」や「閉じこもり」の割合が高くなっており、二次予防対象者についても「10項目以上該当」している方や「閉じこもり」に該当する方については要支援が必要となるリスクが高い可能性があります。

第11表 基本チェックリスト該当項目

区 分	二次予防対象者 実 (割合)	介護認定者 実 (割合)
①二次予防事業対象者 (実人数)	411 (100.0%)	145 (81.0%)
a. 1～20 までのうち 10 項目以上該当	77 (18.7%)	96 (53.6%)
b. 運動	278 (67.6%)	127 (70.9%)
c. 栄養	17 (4.1%)	4 (2.2%)
d. 口腔	221 (53.8%)	79 (44.1%)
②閉じこもり	98 (23.8%)	76 (42.5%)
③物忘れ	217 (52.8%)	128 (71.5%)
④うつ	191 (46.5%)	100 (55.9%)

※介護認定者 179 名中 34 名 (19.0%) は基本チェックリストにおいて非該当。

(4) 介護の必要性

現在、介護を必要としているかどうかの設問に対し、介護認定をうけていない方についても「何らかの介護をうけている」方が 2.1%、「必要と感じているが受けていない」方は 5.7% いました。特に、二次予防対象者は生活機能の低下のおそれもあり、まだ介護はうけていないものの、11.7% が介護の必要性を感じていました。

認定者では「何らかの介護をうけている」方が約半数となっていますが、介護が「必要ない」と感じていたり、「必要だが現在は受けていない」方もそれぞれ 2 割近くおり、身体機能の低下や生活の中での大変さはあるものの、自身のことや身の回りのことは継続して実施されていることがうかがわれます。

第12表 介護の必要性と実際の介護の有無

(単位：人)

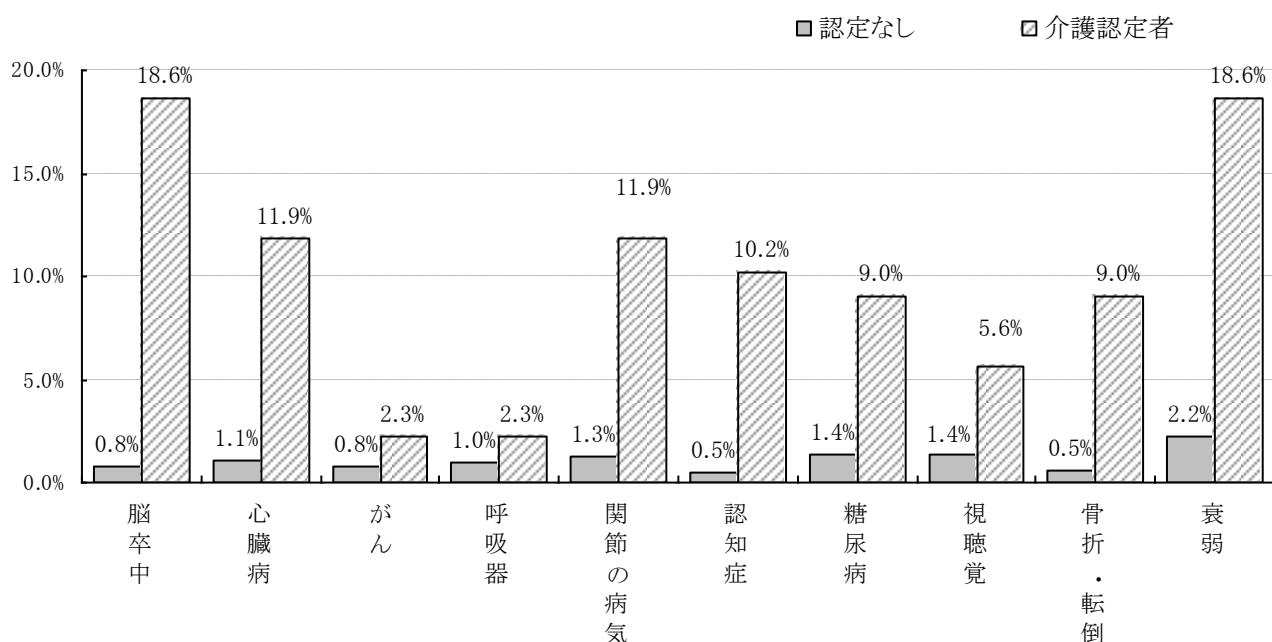
区 分	必要ない		必要だが 受けていない		何らかの介護を うけている		未記入		計
認定なし	1,003	77.0%	73	5.6%	27	2.1%	199	15.3%	1,302
一般	717	80.5%	25	2.8%	10	1.1%	139	15.6%	891
二次予防対象者	286	69.6%	48	11.7%	17	4.1%	60	14.6%	411
認定者	37	20.9%	32	18.1%	83	46.9%	25	14.1%	177
支援1	24	24.5%	20	20.4%	36	36.7%	18	18.4%	98
支援2	6	16.7%	4	11.1%	22	61.1%	4	11.1%	36
介護1	6	18.2%	6	18.2%	19	57.6%	2	6.1%	33
介護2	1	10.0%	2	20.0%	6	60.0%	1	10.0%	10
計	1040	70.2%	106	7.2%	111	7.5%	224	15.1%	1481

(5) 介護が必要になった主な要因

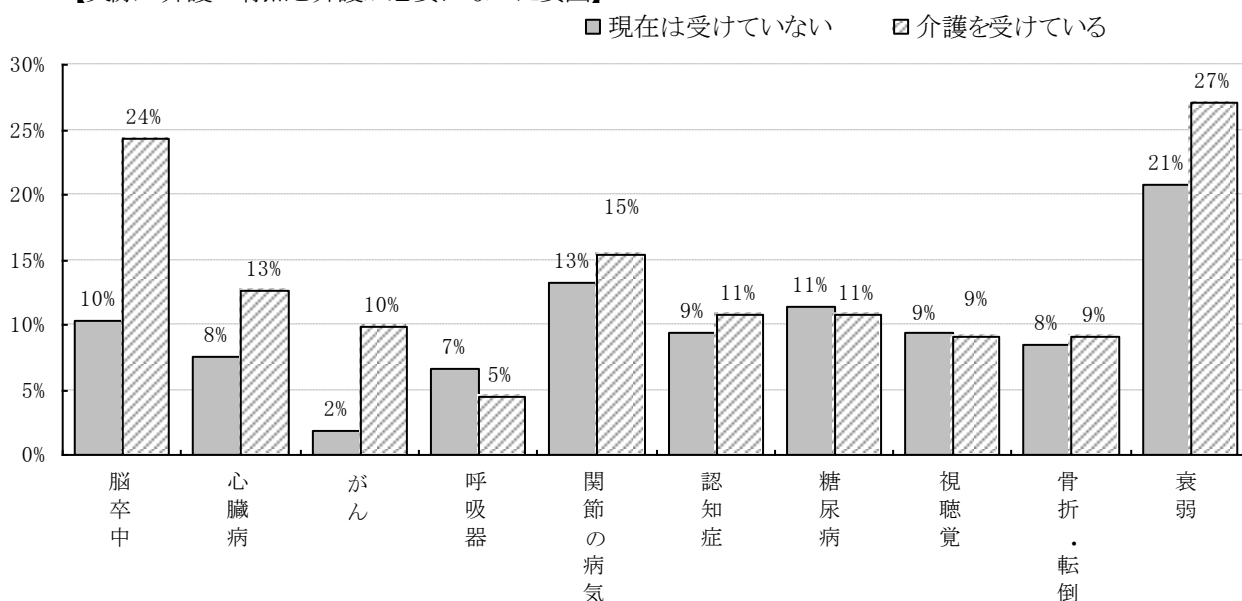
介護認定者になった要因は、『脳卒中』『加齢による衰弱』が18.6%と最も多く、次いで『関節の病気』『心疾患』が11.9%、『認知症』が10.2%となっています。また、『糖尿病』『転倒・骨折』も9.0%となっています。

実際の介護の有無と介護要因をみると、『脳卒中』や『心臓病』『がん』については介護を受けている割合が高くなっています。他の疾患については割合の差は少ないことから、関節の病気や認知症等の介護の要因があっても、日常生活への大きな支障がなければ直接的な介護をうけずに生活を送ることができると考えられます。

【介護が必要になった要因（認定の有無別）】



【実際の介護の有無と介護が必要になった要因】



(6) 運動機能について

運動機能について、低下を感じやすい項目は「歩く速度」であり、一般高齢者については半数、二次予防対象者及び認定者については86%が歩く速度の低下を感じています。また、「転倒に対する不安」も感じやすく、一般高齢者でも35%が不安を感じています。

その他、椅子からの立ち上がりや階段を上際に何かにつかまったり、支えを要する方が一般高齢者に比して二次予防対象者や認定者は多くなっており、下肢筋力の低下がみられています。また、認定者では「杖を使用する」方も多く、歩行の不安定さがみられ、15分位続けて歩くことも少なくなっていますが、「5m以上歩ける」力は保持されており、家の中や家の周りでの活動は行えていると考えられます。

第13表 運動機能

区 分	一般		二次予防対象者		介護認定者	
	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	70.2%	20.7%	27.4%	67.7%	17.9%	70.4%
椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	92.9%	3.1%	55.3%	40.8%	31.8%	64.8%
15分位続けて歩いていますか	86.3%	9.2%	58.9%	38.1%	38.0%	56.4%
5m以上歩けますか	94.8%	1.0%	89.5%	5.4%	75.4%	19.6%
この1年間に転んだことがありますか	17.6%	76.4%	49.6%	46.9%	55.3%	39.7%
転倒に対する不安は大きいですか	34.7%	57.4%	77.8%	17.8%	84.9%	10.1%
背中が丸くなってきましたか	25.1%	67.7%	53.1%	42.8%	61.5%	30.7%
以前に比べて歩く速度が遅くなってきたと思いますか	50.5%	45.6%	85.6%	12.7%	85.5%	9.5%
杖を使っていますか	4.4%	90.4%	24.7%	71.6%	64.8%	31.8%

(7) 閉じこもりについて

介護認定者では「週1回以上は外出をしていますか」の設問に対し「いいえ」と回答する方が42.5%と多く、二次予防対象者についても、週1回以上は外出をしているものの「昨年と比べて外出の回数が減っている」「外出を控えている」という方の割合が高く外出の機会が少なくなっています。

買い物で外出をする頻度については、一般高齢者では「週2,3日」が最も多いのに対し、介護認定者では「週1日未満」となり、外出を控える方が多くなっています。

散歩で外出をする頻度は調査時期が冬期間であり、回答率は低くなっていますが、一般高齢者では約半数が週に2～3日以上は散歩に出ており、26.9%は「ほぼ毎日」散歩をされています。二次予防対象者、認定者でも「週に2,3日」散歩をしている方はそれぞれ、10.0%、14.0%おり、外出や散歩の機会は少なくなっているものの、歩く力を落とさないよう意識していることがうかがわれます。

第14表 閉じこもり

区 分	一般		二次予防対象者		介護認定者	
	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
週に1回以上は外出していますか	88.0%	8.1%	73.3%	24.0%	53.1%	42.5%
昨年度比べて外出の回数が減っていますか	22.6%	73.1%	52.8%	44.7%	66.5%	28.5%
外出を控えていますか	16.5%	77.3%	46.7%	49.4%	62.0%	31.8%

(単位：人)

区 分		一般		二次予防対象者		介護認定者	
		人数	割合	人数	割合	人数	割合
買い物で外出する頻度はどれくらいですか	ほぼ毎日	51	5.7%	18	4.4%	2	1.1%
	週4,5日	78	8.7%	31	7.6%	3	1.7%
	週2,3日	244	27.3%	85	20.8%	13	7.3%
	週1日	216	24.2%	83	20.3%	17	9.5%
	週1日未満	123	13.8%	91	22.2%	59	33.0%
	(空白)	181	20.3%	101	24.7%	85	47.5%
散歩で外出する頻度はどれくらいですか	ほぼ毎日	240	26.9%	71	17.4%	9	5.0%
	週4,5日	77	8.6%	29	7.1%	3	1.7%
	週2,3日	127	14.2%	41	10.0%	25	14.0%
	週1日	44	4.9%	26	6.4%	11	6.1%
	週1日未満	76	8.5%	69	16.9%	43	24.0%
	(空白)	329	36.8%	173	42.3%	88	49.2%

(8) 栄養・口腔について

「固いものが食べにくくなりましたか」「お茶や汁物等でむせることがありますか」「口の渇きが気になりますか」というの口腔機能項目について、二次予防対象者・介護認定者では40～50%の方に機能の低下がみられていました。一般高齢者については、10%程度でしたが、「固いものが食べにくくなった」は14.8%であり、咀嚼機能の低下を感じられていました。

歯磨き、入れ歯の手入れや歯科受診については大きな変化はみられなく、習慣化した行動となっていることがうかがえます。

第15表 栄養・口腔

区 分	一般		二次予防対象者		介護認定者	
	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
6ヶ月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか	8.7%	78.3%	19.6%	67.2%	20.7%	62.0%
半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	14.8%	82.2%	53.1%	44.5%	52.6%	44.5%
お茶や汁物等でむせることがありますか	9.5%	88.0%	41.1%	56.5%	40.2%	55.9%
口の渇きが気になりますか	11.1%	83.3%	51.6%	43.8%	44.7%	46.9%
歯磨きを毎日していますか	83.0%	12.9%	83.4%	13.7%	82.7%	14.0%
定期的に歯科受診（定期健診を含む）をしていますか	28.3%	66.7%	24.2%	69.7%	14.0%	79.9%
入れ歯を使用していますか（部分入れ歯を含む）	70.1%	26.5%	79.7%	18.3%	83.2%	13.4%
（入れ歯のある方のみ）噛み合わせは良いですか	61.8%	7.1%	60.9%	16.9%	59.2%	21.8%
（入れ歯のある方のみ）毎日入れ歯の手入れをしていますか	66.1%	2.8%	73.6%	4.6%	77.1%	6.1%

(9) 日常生活について

日常生活の中の行動について、「バスや電車、車で一人で外出をしている」方は一般高齢者では82.8%、二次予防対象者では58.9%、介護認定者では17.9%と徐々に低下がみられており、請求書の支払いや預貯金の出し入れ、買い物等の外出に伴う行動についても同様の傾向となっています。「50m以上歩けますか」の設問についても「できるけどしていない」「できない」と答える方が介護認定者では多くなっており、下肢機能・歩行能力の低下が要因となり、「歩くこと」を伴う行動の大変さにつながっています。

食事の摂取や排泄動作、洗面や着替えなど毎日実施する身の回りのことについては、あまり低下がみられず継続して実施されていますが、認定者では入浴の介助を必要とする方の割合が多くなっています。

また、認定者では「買い物」や「食事のしたく」についても「できない」と答える方の割合が約40%、「家事全般」についても「できるけどしていない」という方が51.4%を占め、家での役割が減ってきたり、家事支援を必要とする方が多くなっています。

第16表 日常生活行動

区 分	一般			二次予防対象者			介護認定者		
	している	していない	できない	している	していない	できない	している	していない	できない
バスや電車・車で一人で外出していますか	82.8%	10.3%	3.2%	58.9%	22.7%	14.7%	17.9%	12.3%	61.5%
日用品の買い物をしていますか	86.7%	9.7%	0.3%	70.4%	17.6%	8.6%	31.8%	22.3%	40.2%
自分で食事の用意をしていますか	66.6%	26.4%	3.8%	62.1%	24.4%	10.5%	38.0%	19.0%	38.0%
請求書の支払いをしていますか	82.2%	12.1%	1.6%	68.0%	21.0%	8.3%	40.8%	19.0%	34.1%
預貯金の出し入れをしていますか	81.6%	13.4%	2.1%	68.7%	18.8%	9.0%	38.0%	27.4%	30.7%
食事は自分で食べられますか	97.4%	0.0%	0.0%	95.8%	1.2%	0.2%	88.8%	6.7%	0.6%
寝床に入るとき、何らかの介助をうけますか	95.7%	0.1%	0.0%	95.8%	1.2%	0.2%	78.2%	16.2%	1.1%
座っていることができますか	94.4%	0.6%	2.1%	89.2%	2.9%	4.6%	76.5%	9.5%	8.4%
自分で洗面や歯磨きができますか	97.5%	0.1%	0.1%	97.3%	0.2%	0.5%	88.3%	7.3%	1.1%
自分でトイレができますか	97.9%	0.0%	0.0%	96.8%	0.5%	0.5%	92.2%	3.9%	1.1%
自分で入浴ができますか	97.8%	0.1%	0.0%	96.1%	1.7%	0.5%	64.2%	24.0%	8.9%
50m以上歩けますか	97.4%	0.2%	0.3%	90.0%	5.1%	2.4%	52.0%	21.8%	20.7%

区 分	一般			二次予防対象者			介護認定者		
	ない	とき どき	ある	ない	とき どき	ある	ない	とき どき	ある
階段の昇り降りができますか	96.0%	0.7%	0.6%	84.1%	8.1%	4.4%	42.5%	21.8%	29.6%
自分で着替えができますか	97.8%	0.0%	0.0%	96.3%	1.2%	0.2%	84.4%	10.1%	2.2%
家事全般ができていますか	74.8%	16.9%	0.1%	64.5%	24.0%	1.5%	33.0%	51.4%	5.0%
大便の失敗がありますか	95.2%	1.9%	0.2%	89.5%	7.1%	0.5%	65.9%	26.3%	2.2%
尿もれや尿失禁がありますか	85.7%	11.6%	0.2%	65.3%	29.6%	2.4%	39.1%	43.6%	12.3%

(10) 社会参加について

社会的な役割や機能については、二次予防対象者・介護認定者では徐々に低下がみられていますが、「新聞を読む」「健康への関心」については低下はみられるものの比較的保たれており、生活機能が低下し介護が必要となっても意識を持っている事がうかがわれます。

介護認定者では「趣味」や「生きがい」を持っていない方が一般高齢者・二次予防対象者に比較して多く、役割や楽しみの喪失がみられています。

第17表 社会参加

区 分	一般		二次予防対象者		介護認定者	
	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
年金などの書類（役所や病院などにだす書類）が書けますか	85.6%	10.4%	69.7%	28.6%	30.7%	64.8%
新聞を読んでいますか	89.9%	8.0%	81.4%	17.1%	71.5%	25.1%
本や雑誌を読んでいますか	72.6%	24.3%	57.2%	40.8%	43.6%	51.4%
健康についての記事や番組に興味がありますか	90.7%	6.3%	87.8%	10.8%	70.9%	22.9%
友人の家を訪ねていますか	74.2%	23.2%	55.3%	43.0%	21.2%	73.7%
家族や友人の相談にのっていますか	82.9%	12.4%	67.0%	29.8%	40.8%	54.2%
何かあったときに、家族や友人・知人などに相談をしていますか	90.8%	4.9%	88.3%	9.8%	82.1%	11.2%
病人を見舞うことができますか	95.0%	2.2%	84.4%	13.2%	48.6%	47.5%

区 分	一般		二次予防対象者		介護認定者	
	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
若い人に自分から話しかけることはありますか	86.7%	10.4%	72.6%	24.7%	56.4%	36.3%
趣味はありますか	82.2%	14.4%	71.1%	25.9%	50.8%	45.8%
生きがいがありますか	87.3%	7.2%	74.1%	19.1%	57.0%	34.6%

(11) 健康観

自分自身の健康状態をどのようにとらえているかという健康感を比較すると、一般高齢者では「とても健康・まあまあ健康」と感じている方が80%であるのに対し、介護認定者では47%が「あまり健康ではない・健康ではない」と感じています。健康感とは生活機能の低下の要因となることから、病気があっても通院や内服を継続し健康管理を行い、健康感を高くもつことが大切です。

第18表 健康観

普段、ご自分で健康だと思いますか	とても健康	まあまあ健康	あまり健康ではない	健康ではない
一般	9.6%	70.4%	11.9%	2.5%
二次予防対象者	4.6%	50.4%	30.1%	10.8%
介護認定者	3.4%	43.0%	23.5%	23.5%